



施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

1 施策の基本情報

施策名	30 快適な生活環境づくり	
目的	対象	市民, 事業者
	意図	安心して暮らせる環境を維持することができる
施策の方向	生活環境被害の防止対策, まちの美化活動, 路上喫煙対策, 下水道施設の機能維持などについて, 市民, 地域, 事業者, 市がそれぞれの役割に応じた取組を進め, 市民が安心して暮らすことができる環境を維持します。	

2-1 施策全体の考察①（施策の目的, 方向に対する考察）

<p>施策の目的, 方向に対する考察</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が安心して暮らせる生活環境の保全を図るため, 大気汚染, 騒音, 振動, 水質汚濁, 悪臭, 特定粉じん等について, 法令, 条例等に基づき監視・指導を実施した。 指定した市内9駅周辺の路上喫煙禁止区域において, 巡回員によるパトロールを継続して実施したほか, 路面タイル, ステッカーの設置やキャンペーンの実施等による周知・啓発に努めた。依然として喫煙者の減少には至っていないことから, 引き続き, パトロールの実施や啓発による周知・啓発に努めていく。 有機フッ素化合物(PFAS)について, 国の方針等に基づき, 専門家の助言を受けながら対策を進めていく。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移/考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
騒音や悪臭などの公害対策について不満を感じる市民の割合	%	14.4 令和4年度	18.4 令和5年度	12.0 令和8年度	▼	生活スタイルの変化による生活苦情の増加が要因していると考えられる。引き続き法令等に基づき適切な対応に努める。
美化活動に参加した市民の数	人	3,731 令和3年度	4,404 令和5年度	1万5,000 令和5~8年度の4 箇年累計	○	指標における年平均値は3,750人であり, 令和5年度の実績値はそれを上回っており, 市民の美化意識が高まってきていると考えられる。今後も地域清掃活動の支援等による美化意識向上の促進を図る。
下水道施設の老朽化・劣化対策における管路点検延長累計	スパン	6,036 令和3年度	8,424 令和5年度	累計1万1,626 令和8年度	○	ストックマネジメント計画に基づき, 着実に実施した。引き続き, 計画的な執行に努める。

※ ◎: 目標達成 ○: 目標値を未達成(前年度より向上した) ▼: 目標値を未達成(前年度より低下した) ⇒: 目標値を未達成(前年度と同じ又は前年度数値未把握) - : 数値未把握(調査未実施など)

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向

■30-1 美化活動の推進

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
96	都市美化の促進と路上喫煙対策の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・受動喫煙防止パトロールの実施 ・地域清掃活動の支援 ・多摩川, 野川, 調布駅前, 飛田給駅前クリーン作戦の実施 ・喫煙マナーアップ, 受動喫煙防止キャンペーンの実施 ・路上喫煙防止対策の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input checked="" type="checkbox"/> 参加と協働改善	・受動喫煙防止パトロールの実施 ・地域清掃活動の支援 ・多摩川, 野川, 調布駅前, 飛田給駅前クリーン作戦の実施 ・喫煙マナーアップ, 受動喫煙防止キャンペーンの実施 ・路上喫煙防止対策の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①有機フッ素化合物(PFAS)対策 ②飛田給駅周辺, 調布駅周辺美化推進重点地区の指定及び周知・啓発	①有機フッ素化合物(PFAS)対策の継続 ②駅周辺の喫煙・ポイ捨て対策に関する近隣自治体の状況等調査実施, 市民参加型啓発方法の検討及び実施

■30-3 持続可能な下水道事業経営

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
97	下水道施設の老朽化・劣化対策の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・下水道ストックマネジメント計画に基づく点検・調査（1,164スパン）、管更生工事（138.37m）、マンホール蓋交換工事（181箇所）を実施 ・仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化工事を実施（令和6年度末まで） ・下水道施設の予防保全型の維持管理業務における包括的民間委託に向けた手続を実施（令和6年度～令和8年度で包括委託を実施）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・下水道ストックマネジメント計画に基づく点検・調査（約1,100スパン）、管更生工事（約200m）、マンホール蓋交換工事（約200箇所）を実施（令和6年度） ・下水道ストックマネジメント計画の改定（計画期間：令和8年度～令和18年度）に向け検討（令和6年度） ・仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化工事を実施（令和6年度末まで） ・下水道施設の予防保全型の維持管理業務における包括的民間委託を実施（令和6年度～令和8年度） ・管理・更新一体マネジメントであるウォーターPPPの導入検討を実施（令和6年度～令和8年度検討）

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①下水道事業の経営課題解決に向けた経営戦略改定準備 ②下水道事業の広報の強化 ・小学生向けHPコンテンツ（マンホール潜入動画）の充実 ・多摩川自然情報館における令和元年東日本台風の記録写真等の展示による市民の水防災意識啓発	①経営戦略改定（令和6年度）及び関連する条例改正（令和7年度） ②下水道事業の広報の強化

4 施策の推進，成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度の取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・下水道管路の維持管理情報のデジタル化を進め、予防保全型の維持管理業務へ活用することで、市民が安心して暮らせる環境を維持	・地域清掃活動の支援 ・飛田給駅周辺、調布駅周辺美化推進重点地区の指定及び周知・啓発【令和5年度】 ・建物の新築・建替や宅地開発などが実施される際は、流域治水の考えの下、地下水涵養や雨水の流出抑制を図るため、関係者と協働し雨水浸透施設などの設置を促進
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・下水道管路内の下水道熱の性質を踏まえ、冷暖房等の熱源としての利用可能性を検討 ・雨水流出の抑制、河川の水質改善、地下水の涵養等を図るため、雨水浸透施設の設置を促進 ・下水道幹線の新設による自然流下方式への切替により、仙川汚水中継ポンプ場を廃止し、二酸化炭素の排出を抑制	・災害時における施設の機能不全リスクを解消するため、仙川汚水中継ポンプ場の廃止に向け、下水道幹線の新設による自然流下方式への切替工事を推進 ・（仮称）調布駅前広場公衆トイレについて、電力消失時や上下水道が損傷した場合でも使用を可能とするために、蓄電装置を備えた太陽光発電設備や洗浄水循環システムを採用